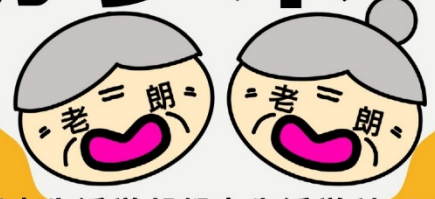
事務負担削減＋地域交流サポートでの
高齢者クラブ活性化サービス

老朗サポート



都市生活学部都市生活学科　１年
程原菜生

高齢者クラブのどこが課題なの？

課題は主に管理者側、参加者側の２つ。高齢者数増加の一方、規模も縮小しています。

【管理者】

- 管理者に課される負担
  （書類の作成や管理等）
  PRできるようにならず声をかけられない！

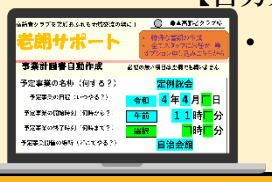
【参加者】

- クラブ内の集まりでの活動のマンネリ化
  飽きている！友達も呼ばれない！

管理者側の課題、どう解決する？

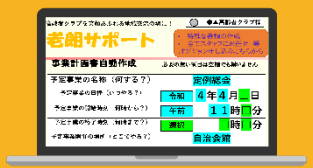
【自力入力のサポート】

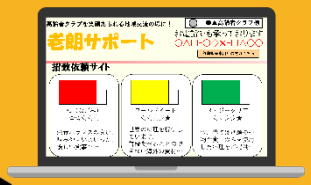
- 表に必要な項目を入力するだけ
  →PDF 等で出力できるように！
- 入力の解説も用意



【自力入力が難しい場合】

- 電話などでの代理作成にも対応
  →オプションで利用可に！





参加者側のマンネリはどう解決？

- 密室でのリスクを軽減するため
  オープンエアーな「公園」を活用した
  高齢者コミュニティづくりのサービス

→マンネリ打破へ！

「そこだけでは利用したいと思わない…」→**そこで**

- まずは、最近利用人気が高まりつつある
  キッチンカーをはじめとした
  移動販売車出店のサポート
- 実際に行くことが難しい珍しい料理

→食を通じて高齢者の生活の充実さを高める

市場規模はどのくらい？

【書類作成】※全国展開
- １枚３００円　１クラブ１０種類作成→３０００円
- 年間５万か所が利用と仮定

→（５００００×３０００）＝１億５千万円

【移動販売】※祖父母の高齢者クラブが千葉なので千葉県内でのサービス提供から開始
高齢者クラブは１回２０００円
- 県内のクラブ２０００か所が年１回利用すると仮定

→（２０００×２０００）＝４００万円
移動販売車は売り上げの５％を手数料として徴収
- 会員５万人×１回１０００円とする

→（５００００×１０００×０．５）＝２５０万

計１億５６５０万円

そもそもなぜ高齢者クラブに視点を置いたの？

祖父が高齢者クラブ会長（１０年以上）
祖母が同クラブ経理をやっているから　だけでなく

- 地域のコミュニティは希薄に
- 高齢者は増加の一途・・・「２０２５年問題」→地域包括ケアシステムが必要
更に…
- 自粛でずっと我慢→体力・活力の低下

そこで

実際コロナ禍で元気のなかった祖父も
ちょっとしたイベントに出たら元気になった！

- **開かれた交流の場（高齢者クラブ）の活用でストレス発散**
- **多くの高齢者が元気に生活できるように！**
- **＋QOL向上！**（…医療費も削減できる！）

だからこそ、「**老朗サポート**」！！

参考：厚生労働省『高齢者白書』等　一部イラスト利用：イラストや